

○計画期間：平成25年4月～平成30年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成27年度終了時点（平成28年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成25年4月以降、認定基本計画に基づき、「出会う」「暮らす」「遊ぶ」の3つの方針のもとに各事業を実施しており、福井駅周辺土地区画整理事業による福井駅西口広場の供用開始（H28年3月）や福井駅西口中央地区都市機能集約事業、福井駅西口中央地区市有施設等整備事業、福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業、福井にぎわい交流拠点整備事業による福井駅西口再開発ビルの完成（H28年4月オープン）や福井鉄道軌道・電停等整備事業による福井鉄道駅前線延伸や相互乗り入れ、低床車両（LRV）への更新など、それぞれの目標達成に向けた取り組みを行ってきたところである。

また、平成30年開催の「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会、平成34年の北陸新幹線福井開業に向け、民間宿泊施設の建設が進むなど、民間投資意欲が高まりつつある。

一方で、土地区画整理事業や再開発事業などの工事の影響や中心市街地における商業・サービスの魅力低下が要因となり、中心市街地内の周遊性が低下し歩行者・自転車通行量の減少に歯止めがかからない状況が続いている。

こうした中、目標指標である公共交通機関乗車数（一日平均）は、平成22年以降増加傾向にあり、基準値の平成23年（16,378人/日）と比べ1,047人/日の増加となった。

観光案内所利用者数は、平成24年に大きく減少したが、以降は増加傾向にあり、基準値の平成23年（47,138人/年）と比べ7,330人/年の増加となった。

人口の社会増減数は民間事業者による共同住宅の整備に伴い、一部のエリアでは増加となったが、中心市街地全体では減少となった。

歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）は、減少に歯止めがかからず、基準年の平成24年（36,686人/日）と比べ6,684人/日の減少となった。

目標指標の数値としては厳しい状況ではあるが、新たなランドマークとなる西口再開発ビル「ハピリン」完成や北陸新幹線福井駅開業に向けた期待感から、新たな宿泊施設の建設やまちづくり活動の活発化など、中心市街地活性化への気運が高まっていると感じられる。

2. 平成 27 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

平成 25 年度よりスタートした第 2 期の福井市中心市街地活性化基本計画では、「公共交通機関乗車数（一日平均）」「観光案内所利用者数」「人口の社会増減数」「歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）」の 4 つの目標指標を掲げ、まちなかの賑わい創出に向けて事業が展開された。

「公共交通機関乗車数」「観光案内所利用者数」については、目標達成見込みであるが、「人口の社会増減数」「歩行者・自転車通行量」は、目標達成が困難な状況である。

目標達成が困難な状況として、まず「人口の社会増減数」については、転入や共同住宅の整備により人口増が見込まれるものの、これを上回る転出が続いているためである。また、「歩行者・自転車通行量」は、定点で調査しているが、再開発事業が進められたことで通行の流れが変化したことと来街者の回遊性の低さが挙げられる。

また一方で、北陸新幹線福井駅の開業が平成 34 年度末に控えている。開業後、JR 福井駅には、観光やビジネスなど多くの県外客がこれまで以上に降り立つことを考慮すると、中心市街地活性化の重要性が増している。

こうした状況を踏まえ、今期計画の改善や修正を速やかに図る必要がある。まずは、目標指標の平成 27 年度結果を真摯に受け止め、結果の要因を正確に緻密に分析すること。要因分析と併せ、基本計画に掲げている事業を有効性の観点から見直し、効果の高い事業に予算を集中させるなど、事業の整理・統廃合を行うこと。事業の整理にあたっては、「中心市街地マネジメント会議」に諮るなど、行政だけでなく産学官の視点で行うこと。

また、ハード整備のメイン事業であった福井駅西口再開発ビルが完成したことから、今後は、ハード整備を活かすためのソフト事業を計画に盛り込み事業を遂行することが必要である。

協議会としては、中心市街地の活性化を図るため、福井市に対して強いリーダーシップの発揮を求めるとともに、今後も引き続き連携・協力していく所存である。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

| 目標 | 目標指標 | 基準値 | 目標値 | 最新値 | 前回の 見通し | 今回の 見通し |
|------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------|------------|
| 1 出会う人を増やす | 公共交通機関乗車数 (一日平均) | 16,378 人 ／日 (H23) | 17,150 人 ／日 (H29) | 17,425 人 ／日 (H27) | — | ① |
| | 観光案内所利用者数 | 47,138 人 ／年 (H23) | 54,000 人 ／年 (H29) | 54,468 人 ／年 (H27) | — | ① |
| 2 暮らす人を増やす | 人口の社会増減数 | 131 人増 (H20～ H24) | 322 人増 (H25～ H29) | 103 人減 (H27) | — | ② |
| 3 遊ぶ人を増やす | 歩行者・自転車通行量 (平日・休日の平均) | 36,686 人 ／日 (H24) | 48,500 人 ／日 (H29) | 30,002 人 ／日 (H27) | — | ② |

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

1) 公共交通機関乗車数（一日平均）について

公共交通機関乗車数（一日平均）については、基準値と比べて 1,047 人/日増加、前年度からも 462 人/日増加している。

目標達成のための事業である、福井駅西口中央地区市有施設等整備事業、福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業などによるハード整備の完了、福井駅西口広場へのバス乗降所集約、福井鉄道駅前線延伸や相互乗り入れ、低床車両（LRV）への更新による交通結節機能の強化に併せ、イベント開催の促進や公共交通の利用促進などソフト事業を継続して取り組んでいくことで目標達成が見込まれる。

2) 観光案内所利用者数について

観光案内所利用者数については、基準値と比べて 7,330 人/年増加、前年度からも 4,623 人/年増加している。

既に目標値を達成している中、福井駅西口中央地区市有施設等整備事業によるハード整備の完了により、さらに一定の効果が見込まれる。

3) 人口の社会増減数について

人口の社会増減数については、認定後の平成 25 年度から平成 27 年度までで 103 人減少し

た。

平成 27 年は中央 3 丁目エリアにおいて民間事業者による共同住宅（8 月入居開始）の整備が行われ、当該エリアの人口が社会増になるなど一定の効果がみられたが、中心市街地全体における社会増には至らなかった。

第 2 期計画に位置づけられている「福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業」の共同住宅整備（平成 28 年 3 月完成）により、約 200 名の社会増を見込んでいるが、今後、本計画期間内で整備が完了する共同住宅が無い場合、目標達成は困難と考えられる。

4) 歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）

歩行者・自転車通行量については減少に歯止めがかからず、基準値と比べて 6,684 人/日の減少となった。

歩行者・自転車通行量については、西口再開発事業に伴う工事の影響や中心市街地における商業・サービス業の魅力低下が要因となり減少傾向が続いていると考えられる。

近年、まちづくり会社や地元商店街と連携し、各種ソフト事業に取り組んでいるが、通行量の増加につながっていない。今後、ハピリンの完成（平成 28 年 3 月完成）により、歩行者・自転車通行量に一定の効果を見込んでいるが、目標値の 48,500 人/日には及ばず、目標達成は困難であると考えられる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

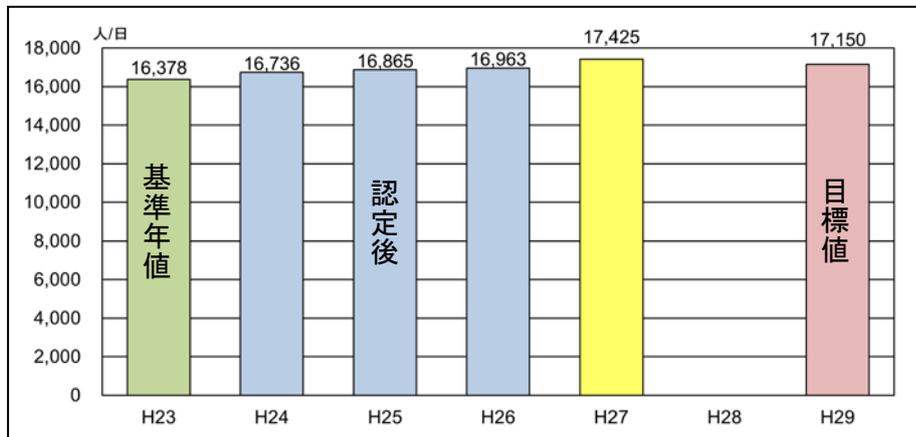
前回フォローアップは実施していない

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「公共交通機関乗車数（一日平均）」

※目標設定の考え方基本計画 P78～P84 参照

●調査結果の推移



| 年 | (人/日) |
|-----|------------------|
| H23 | 16,378 (基準年値) |
| H24 | 16,736 |
| H25 | 16,865 |
| H26 | 16,963 |
| H27 | 17,425 |
| H28 | |
| H29 | 17,150 (目標値) |

※調査方法：乗車数の集計

※調査月：毎年4～3月

※調査主体：各事業者

※調査対象：中心市街地を発着点とする主要な公共交通機関（JR、えちぜん鉄道、福井鉄道、京福バス、すまいるバス）の中心市街地エリアにある全ての停留所及び駅での乗車数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 福井駅西口中央地区都市機能集約事業（福井市）

| | |
|------------|-------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成27年度【済】 |
| 事業概要 | 西口再開発ビルにおけるプラネタリウム(ドームシアター)や展示スペースの整備を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：34人/日 平成28年3月に整備が完了、平成28年4月28日にオープン予定である。 |

②. 福井駅西口中央地区市有施設等整備事業（福井市）

| | |
|------------|--------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成27年度【済】 |
| 事業概要 | 西口再開発ビルにおける総合ボランティアセンター、観光関連施設、屋根付き広場などの整備を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：249人/日 平成28年3月に整備が完了、平成28年4月28日にオープン予定である。 |

③. 福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業（福井駅西口中央地区市街地再開発組合）

| | |
|------------|-------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成27年度【済】 |
| 事業概要 | 西口再開発ビルにおける商業・業務施設、住宅、公共公益施設、駐車場などの整備を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：202人/日 |

| | |
|------|-----------------------------------------------|
| 進捗状況 | 平成 28 年 3 月に整備が完了、平成 28 年 4 月 28 日にオープン予定である。 |
|------|-----------------------------------------------|

④. (仮称) 福井にぎわい交流拠点整備事業 (福井駅西口中央地区暮らし・にぎわい再生事業) (福井市)

| | |
|------------|------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 27 年度【済】 |
| 事業概要 | 西口再開発ビルにおける多目的ホールなどの整備を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：34 人/日 平成 28 年 3 月に整備が完了、平成 28 年 4 月 28 日にオープン予定である。 |

⑤. JR 福井駅南側自転車駐輪場整備事業 (福井市)

| | |
|------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 27 年度【済】 |
| 事業概要 | JR 福井駅の南側に自転車駐輪場を整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：10 人/日 平成 28 年 3 月に 150 台の整備が完了、平成 28 年 4 月 28 日にオープン予定である。 |

⑥. 中心市街地チャレンジ開業支援事業 (まちづくり福井株)

| | |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 29 年度【実施中】 |
| 事業概要 | 空き店舗への出店者に対しての家賃や開業経費を補助する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：5 人/日 中心市街地チャレンジ開業支援事業により、新規出店補助を 58 件 (H25：9 件、H26：17 件、H27：32 件) 行った。 事業効果：290 人 (※1) × 10% × (10.7% (鉄道負担率※2) + 5.6% (路線バス分担率※2)) = 5 人 ※1：開業による来街者数 290 人 (58 件 × 50% × 10 人/件) ※2：福井市中心市街地活性化に関する意識調査 (平成 24 年度 福井商工会議所) 中心市街地への交通手段 |

⑦. 福井駅周辺土地区画整理事業 (福井市)

| | |
|------------|--------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 30 年度【実施中】 |
| 事業概要 | 東口都心環状線・福井駅北通り線・北の庄線など道路整備と西口広場、東口広場、自由通路などの整備を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：150 人/日 福井駅西口広場のバス乗降場の整備が完了、平成 28 年 3 月 27 日より供用を開始した。 |

⑧. 福井鉄道軌道・電停等整備事業 (福井鉄道株、福井市、福井県)

| | |
|--------|------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 25 年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 駅前線の JR 福井駅延伸、市内停留所の改修、田原町駅の改修を行う。 |

| | |
|------------|-------------------------------------------------------------------|
| 事業効果及び進捗状況 | <u>認定時の事業効果：101人/日</u> 福井鉄道駅前線のJR福井駅延伸が完了、平成28年3月27日より供用を開始した。 |
|------------|-------------------------------------------------------------------|

⑨. 低床車両（LRV）への更新（福井鉄道株、福井県）

| | |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成28年度【実施中】 |
| 事業概要 | 交通バリアフリー法に基づいた低床車両（LRV）を導入する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | <u>認定時の事業効果：34人/日</u> 平成26年度～平成27年度に低床車両を2編成導入し、運行を開始した。 事業効果： $(3,019 \text{人/日} (\ast 1) + 1,235 \text{人/日} (\ast 2)) \times 0.9\% (\ast 3)$ $= 38 \text{人/日}$ $\ast 1$ ：えちぜん鉄道中心市街地内駅一日平均乗車数（平成27年度） $\ast 2$ ：福井鉄道中心市街地内駅一日平均乗車数（平成27年度） $\ast 3$ ：福井鉄道に低床車両導入（H18.4）により、市内路面区間の乗車数が 1,392人/日（H17年）→1,405人/日（平成18～23年度の5年間平均乗車数）に0.9%増加。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策

公共交通機関乗車数は増加傾向にあり、西口広場の交通結節機能の強化や西口再開発ビルの完成によって、さらに一定の効果が見込まれることから、目標達成は可能だと思われる。

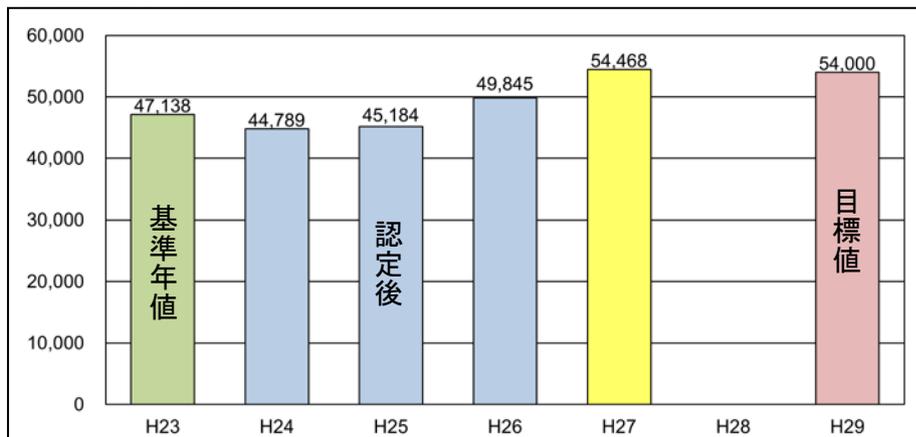
今後は、イベント開催の促進や公共交通の利用促進などソフト事業を継続して取り組んでいくことで、乗車数の増加に努める。

具体的には観光案内所における公共交通切符の販売や、地元バス事業者による運賃100円区間の運行など、新たな取り組みにより利用促進を図る。

「観光案内所利用者数」

※目標設定の考え方基本計画 P85 参照

●調査結果の推移



| 年 | (人/年) |
|-----|------------------|
| H23 | 47,138 (基準年値) |
| H24 | 44,789 |
| H25 | 45,184 |
| H26 | 49,845 |
| H27 | 54,468 |
| H28 | |
| H29 | 54,000 (目標値) |

※調査方法：観光案内所窓口で利用者数をカウント

※調査月：毎年4～3月

※調査主体：福井市

※調査対象：JR福井駅構内の観光案内所における利用者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 福井駅西口中央地区市有施設等整備事業（福井市）

| | |
|------------|-----------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成27年度【済】 |
| 事業概要 | 福井駅構内に設置されている観光案内所を西口再開発ビルに移転整備する |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：22,626人/年 平成28年3月に整備が完了、平成28年4月28日にオープン予定である。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策

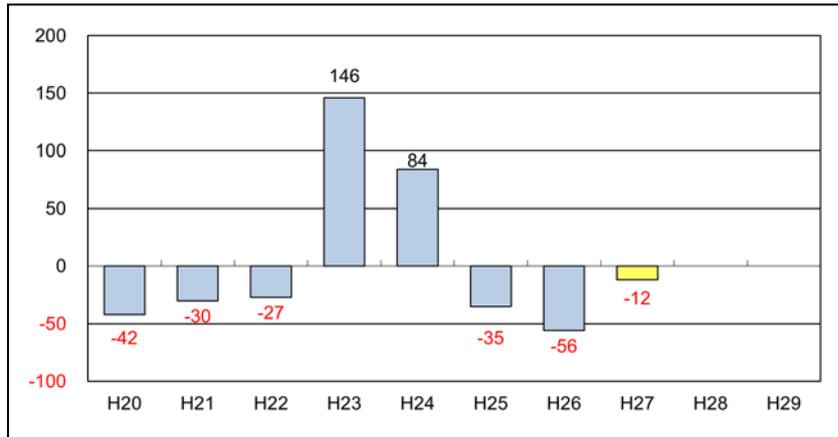
観光案内所利用者数は増加傾向にあり、既に目標達成している。新たなランドマークとなる西口再開発ビルへの移転によって、さらに一定の効果が見込まれる。

今後、交通結節機能の強化に伴い、交通切符の販売、宿泊施設への手荷物配送、観光ガイドの配置など、新たな機能の拡充により、質の高い案内サービスを行うことで、さらに利用者数の増加に努める。

「人口の社会増減数」

※目標設定の考え方基本計画 P86 参照

●調査結果の推移



※調査方法：住民基本台帳（10月1日現在）より集計

※調査月：毎年10月

※調査主体：福井市

※調査対象：中心市街地の年間社会増減数

| 年 | (人) |
|--------------|---------------|
| H20 ~ H24 | 131 (現状数値) |
| H25 | -35 |
| H26 | -56 |
| H27 | -12 |
| H28 | |
| H29 | |
| H25 ~ H29 | -103 (実績値) |
| H25 ~ H29 | 322 (目標値) |

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業（福井駅西口中央地区市街地再開発組合）

| | |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成27年度【済】 |
| 事業概要 | 商業・業務施設、住宅、公共公益施設、駐車場などを整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：205人 平成28年3月に整備が完了、89戸の住宅が供給された。 調査月が10月である為、次年度以降の数値としてカウントされる。 |

②. 地域優良賃貸住宅整備事業（福井市）

| | |
|------------|----------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成29年度【実施中】 |
| 事業概要 | まちなかへの居住を促進するため、地域優良賃貸住宅の整備補助を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：38人 平成25年度～27年度の3年間で、実績なし。 |

③. 共同住宅リフォーム補助（福井市）

| | |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成29年度【実施中】 |
| 事業概要 | まちなかへの居住を促進するため、共同住宅のリフォーム補助を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：57人 平成25年度～27年度の3年間で、リフォーム補助を6戸行った。 事業効果：住宅戸数6戸×2.28人/戸（※）＝14人 平成27年度は実績なし。 ※：中心市街地内の世帯あたり人員（平成24年） |

④. 戸建て住宅リフォーム補助（福井市）

| | |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 29 年度【実施中】 |
| 事業概要 | まちなかへの居住を促進するため、戸建て住宅のリフォーム補助を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | <p>認定時の事業効果：13 人</p> <p>平成 25 年度～27 年度の 3 年間で、リフォーム補助を 1 戸行った。</p> <p>事業効果：住宅戸数 1 戸×2.28 人/戸（※）＝<u>2 人</u></p> <p>平成 27 年度は実績なし。</p> <p>※：中心市街地内の世帯あたり人員（平成 24 年）</p> |

⑤. 二世帯型戸建て住宅建設等補助（福井市）

| | |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 29 年度【実施中】 |
| 事業概要 | まちなかへの居住を促進するため、二世帯型住宅のリフォーム補助を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | <p>認定時の事業効果：15 人</p> <p>平成 25 年度～27 年度の 3 年間で、リフォーム補助を 2 戸行った。</p> <p>事業効果：住宅戸数 2 戸×2.28 人/戸（※）＝<u>5 人</u></p> <p>平成 27 年度は、リフォーム補助を 1 戸行った。</p> <p>事業効果：住宅戸数 1 戸×2.28 人/戸（※）＝<u>2 人</u></p> <p>※：中心市街地内の世帯あたり人員（平成 24 年）</p> |

⑥. 共同建て住宅建設補助（福井市）

| | |
|------------|---------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 29 年度【実施中】 |
| 事業概要 | まちなかへの居住を促進するため、共同建て住宅の建設補助を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | <p>認定時の事業効果：11 人</p> <p>平成 25 年度～27 年度の 3 年間で、実績なし。</p> |

⑦. 職住近接住宅リフォーム補助（福井市）

| | |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 29 年度【実施中】 |
| 事業概要 | まちなかへの居住を促進するため、職住近接住宅のリフォーム補助を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | <p>認定時の事業効果：23 人</p> <p>平成 25 年度～27 年度の 3 年間で、リフォーム補助を 1 戸行った。</p> <p>事業効果：住宅戸数 1 戸×2.28 人/戸（※）＝<u>2 人</u></p> <p>平成 27 年度は実績なし。</p> <p>※：中心市街地内の世帯あたり人員（平成 24 年）</p> |

⑧. 小規模集合住宅建設補助（福井市）

| | |
|------------|---------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 29 年度【実施中】 |
| 事業概要 | まちなかへの居住を促進するため、小規模集合住宅の建設補助を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | <p>認定時の事業効果：23 人</p> <p>平成 25 年度～27 年度の 3 年間で、実績なし。</p> |

⑨. マイホーム借上制度（福井市）

| | |
|------------|---------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 29 年度【実施中】 |
| 事業概要 | まちなかへの居住を促進するため、マイホーム借上制度を行なうことにより、住替を推進する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：9人 平成 25 年度～27 年度の 3 年間で、実績なし。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は順調に進捗しているが、依然、人口の社会減の傾向が続いている状況である。西口再開発ビルの完成により一定の効果は見込まれるが、目標達成は困難だと思われる。人口減の具体的な要因調査を行い、より効果的な事業とするとともに、対市外においては転入超過であることに着目し、U・Iターン世帯には従来の補助金に一定額を加算するなど、以下の事業を実施することで目標達成に向け努力する。

○実態調査

中心市街地における居住者へアンケート調査を実施し、隣接する土地の活用ニーズや建替えに対する意向などを把握し、移住・定住に効果的な活性化事業を検討していく。

○民間投資の促進と都市機能の強化

「福井駅・城址周辺地区まちづくりガイドライン」の周知を図ることで、共同住宅及び生活利便施設の整備を誘導し、中心市街地への居住促進に繋げていく。また、柴田公園の再整備に伴い暮らしやすい環境を整える。

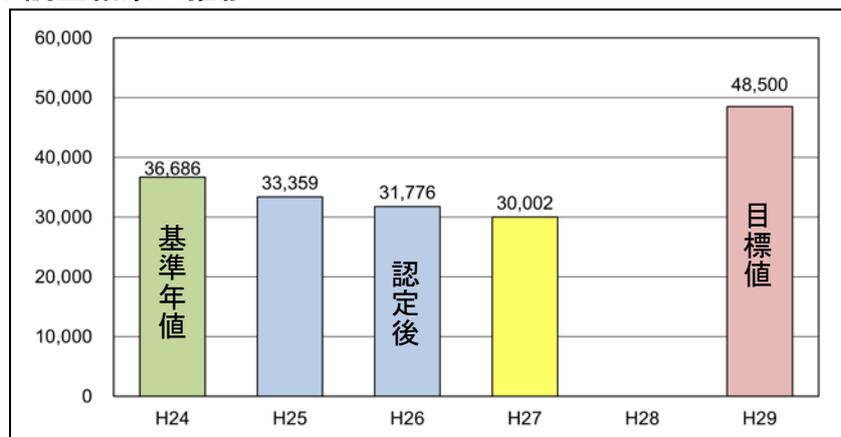
○既存事業の利用促進

「福井市まちなか住まい支援事業」を推進し、若年・子育て世代に対する住宅支援や良質な住宅ストックの形成支援を行う（新たな取組み：U・Iターン世帯には、従来の補助金に一定額を加算する）ほか、事業のPRを強化する。

「歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）」

※目標設定の考え方基本計画 P87～P91 参照

●調査結果の推移



| 年 | (人/日) |
|-----|-----------------|
| H24 | 36,686 (基準値) |
| H25 | 33,359 |
| H26 | 31,776 |
| H27 | 30,002 |
| H28 | |
| H29 | 48,500 (目標値) |

※調査方法：歩行者・自転車通行者、毎年7月・10月（平日・休日）に10地点において9～20時で計測

※調査月：毎年7・10月

※調査主体：福井市

※調査対象：中心市街地内の10地点（シンボルロード南側、ミスタードーナツ前通り、駅前電車通り北側及び南側、駅前電車通りハニー前、みなみ通り旧生活創庫前、ギャラリー元町、アップルロード西武横、北の庄通り、駅前アーケード）における歩行者及び自転車の通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 福井駅西口中央地区都市機能集約事業（福井市）

| | |
|------------|--------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成27年度【済】 |
| 事業概要 | 西口再開発ビルにおけるプラネタリウム(ドームシアター)や展示スペースの整備を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：441人/日 平成28年3月に整備が完了、平成28年4月28日にオープン予定である。 |

②. 福井駅西口中央地区市有施設等整備事業（福井市）

| | |
|------------|----------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成27年度【済】 |
| 事業概要 | 西口再開発ビルにおける総合ボランティアセンター、観光関連施設、屋根付き広場などの整備を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：3,214人/日 平成28年3月に整備が完了、平成28年4月28日にオープン予定である。 |

③. 福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業（福井駅西口中央地区市街地再開発組合）

| | |
|--------|-------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成27年度【済】 |
| 事業概要 | 西口再開発ビルにおける商業・業務施設、住宅、公共公益施設、駐車場などの整備を行う。 |
| 事業効果及び | 認定時の事業効果：1,948人/日 |

| | |
|------|-----------------------------------------------|
| 進捗状況 | 平成 28 年 3 月に整備が完了、平成 28 年 4 月 28 日にオープン予定である。 |
|------|-----------------------------------------------|

④. (仮称) 福井にぎわい交流拠点整備事業 (福井駅西口中央地区暮らし・にぎわい再生事業) (福井市)

| | |
|------------|-------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 27 年度【済】 |
| 事業概要 | 西口再開発ビルにおける多目的ホールなどの整備を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：441 人/日 平成 28 年 3 月に整備が完了、平成 28 年 4 月 28 日にオープン予定である。 |

⑤. JR 福井駅南側自転車駐輪場整備事業 (福井市)

| | |
|------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 27 年度【済】 |
| 事業概要 | JR 福井駅の南側に自転車駐輪場を整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：1,804 人/日 平成 28 年 3 月に 150 台の整備が完了、平成 28 年 4 月 28 日にオープン予定である。 |

⑥. 中心市街地チャレンジ開業支援事業 (まちづくり福井株)

| | |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 29 年度【実施中】 |
| 事業概要 | 空き店舗への出店者に対しての家賃や開業経費を補助する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：630 人/日 中心市街地チャレンジ開業支援事業により、新規出店補助を 58 件 (H25：9 件、H26：17 件、H27：32 件) 行った。 事業効果：58 件/3 年 (※1) × 50% (※2) × 10 人/店 (※3) × 2.1 (※4) = <u>609 人</u> ※1：当該事業での平成 25～27 年度の支援件数 ※2：平成 18～21 年度までに開業支援を行なった店舗の現時点における開業率 ※3：開業支援を行なっている店舗の平均来店者数 ※4：平成 21 年度に実施した福井駅周辺動態調査によると、中心市街地への来街者 376 人は調査地点を 776 回通過しており、平均 2.1 回カウントされている。 |

⑦. 居住者増分 (福井駅西口中央地区市街地再開発組合、福井市)

| | |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成 29 年度【実施中】 |
| 事業概要 | 商業・業務施設、住宅、公共公益施設、駐車場などを整備する。 まちなかへの居住を促進するため、戸建て住宅のリフォームや二世帯型戸建て住宅の建設などに補助を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 認定時の事業効果：1,383 人/日 目標 2 の事業効果分として居住者 23 人増加。 |

| | |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>事業効果：23人（※1）×1,003（※2）×3.5（※3）＝<u>81人/日</u></p> <p>※1：目標2の事業による居住者増分</p> <p>※2：パーソントリップ調査による帰宅トリップ数（平均的な外出回数）</p> <p>※3：平成21年度に実施した福井駅周辺動態調査によると、徒歩での来街者13人は調査地点を45回通過しており、平均3.5回カウントされている。</p> |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

⑧. 福井駅周辺土地区画整理事業（福井市）

| | |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成30年度【実施中】 |
| 事業概要 | 東口都心環状線・福井駅北通り線・北の庄線など道路整備と西口広場、東口広場、自由通路などの整備を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | <p>認定時の事業効果：<u>645人/日</u></p> <p>福井駅西口広場のバス乗降場の整備が完了、平成28年3月27日より供用を開始した。</p> |

⑨. 福井鉄道軌道・電停等整備事業（福井鉄道株、福井市、福井県）

| | |
|------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成25年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 駅前線のJR福井駅延伸、市内停留所の改修、田原町駅の改修を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | <p>認定時の事業効果：434人/日</p> <p>福井鉄道駅前線のJR福井駅延伸が完了、平成28年3月27日より供用を開始した。</p> |

⑩. 低床車両（LRV）への更新（福井鉄道株、福井県）

| | |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成28年度【実施中】 |
| 事業概要 | 交通バリアフリー法に基づいた低床車両（LRV）を導入する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | <p>認定時の事業効果：<u>146人/日</u></p> <p>平成26年度～平成27年度に低床車両を2編成導入し、運行を開始した。</p> <p>事業効果：38人（※1）×4.3（※2）＝<u>163人/日</u></p> <p>※1：LRV導入により増加した利用者数</p> <p>※2：平成21年度に実施した福井駅周辺動態調査によると、公共交通機関を利用した来街者59人は調査地点を251回通過しており、平均4.3回カウントされている。</p> |

⑪. その他の商業活性化などの取組による効果（福井市、福井駅西口中央地区市街地再開発組合、まちづくり福井株、京福バス株、福井鉄道株、福井県）

| | |
|------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 事業完了時期 | 平成29年度【実施中】 |
| 事業概要 | 歩行者・自転車通行量増加に向けた、上記①～⑩の事業 |
| 事業効果及び進捗状況 | <p>認定時の事業効果：<u>1,109人/日</u></p> <p>事業効果：853人（※1）×10%（※2）＝<u>85人</u></p> |

※1：歩行者・自転車通行量増加に向けた事業合計

各事業効果：①0人、②0人、③0人、④0人、⑤0人、⑥609人、
⑦81人、⑧0人、⑨0人、⑩163人 合計853人

※2：イベント開催の促進、ハードを含めた景観整備、響きのホールやAOS
SSAの利用促進など商業活性化などの取組を実施し、にぎわい軸を
中心に魅力の向上を図ることにより、相乗効果として目標3の増加分
の10%増を見込む。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は順調に進捗しているが、依然、歩行者・自転車通行量の減少が続いている状況である。減少の一因と考えられる、西口再開発事業に伴う工事が終了し、西口再開発ビルが完成したことなどから、今後は増加に転じると考えているが、目標達成は困難だと思われる。今後の対策としては以下の事業を実施し、目標達成に向け努力する。

○実態調査

中心市街地で実際に消費や活動を行う来街者や店頭で働く人の意見や動向をアンケート調査や聞き取り等により詳細に把握し、中心市街地活性化に資する効果的な事業を検討する。

○地元企業自らが、まちづくりに能動的に参画する仕組みの構築

産学官金などの関係者によるワーキングを立ち上げ、民間事業者によるファンドやクラウドファンディングなどの仕組みの構築およびまちづくり活動に迅速かつ柔軟に対応できる体制を検討する。

○「まちづくりセンター ふく+」の継続開設と機能の強化

まちづくりセンターにおいて、専門の相談員の配置を行うことにより、まちづくりにかかる相談機能を強化し、人々がまちづくり活動に活発に取り組むことができる環境を整備する。

○賑わい拠点「ハピリン」の利用促進と情報発信強化

ハピリン（西口再開発ビル）の利用促進や周知を図るため、ハピテラスのガラススクリーンへの投影によるプロジェクションマッピングやバックステージツアーなどのイベント、さらには主要都市などにおける商談会で広報・営業を積極的に実施することにより、ビル全体への集客を図る。

○食の魅力向上

まちなかの食の魅力を向上させるため、新たな取組みとして「魚介類+地酒」飲み歩きチケットの販売や福井らしさを感じられる「ふくいごはん」のPRを行っていくとともに、引き続き、中心市街地にある百貨店を会場とした農商工連携の食の催事を行い、来街機会を促進する。

○新たな連携や協働による活性化事業の創出

SNSの活用により互いの活動情報の共有や意見交換を活発に行い、それぞれの強みを活かした自発的な連携事業に対して支援を行う。

○既存事業の強化

まちフェスの開催場所を増やし、賑わいをまちなかに波及させる。また、夜間の賑わい創出に向け、ナイトバーゲンや夜間イベントを開催する。